

|      |                        |      |              |
|------|------------------------|------|--------------|
| 応募者名 | 株式会社サカイ引越センター          | 分野   | 誰一人取り残されない社会 |
| 取組名称 | 引越データを活用した地域課題解決への取り組み | 取組地域 | 滋賀県全域        |

| 概要               |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組内容             | サカイ引越センターは2023年3月に滋賀大学と連携協定を結んだ。引越データを活用し、データを可視化することでさまざまな地域の課題解決の参考になるのではないかと考えている。滋賀県においては南北問題が課題と言われており、北部地域の人口減少に対する解決策が必要だと考える。引越データとハザードマップを組み合わせることでその地域の安全な場所へ誘導できているかを確認することもできる。北部地域と南部地域の良さを活かしながら暮らしの利便性と豊かさの向上につなげる取り組みを今後も行っていきたいと思う。 |
| 実績や効果            | 引越データをリアルタイムで収集・活用することで、人口過密化の傾向を早期に把握することが可能となった。今後、他のオープンデータを使ってインフラ整備や交通対策における新たな指標を提供し、都市計画において重要な意思決定の基盤と地域社会の持続的発展に役立てることが期待できる。                                                                                                               |
| 取組全体を通じて訴えたいポイント | 引越データを活用して地域の課題に迅速に対応し、住民へ安全な暮らしと生活向上を図る点が特徴である。特に、リアルタイムの引越データの活用により、従来の行政データに比べて迅速かつ正確な施策立案が可能であり、地域活性化と安全な地域づくりを目指す。こうした先進的かつ実効的なアプローチに注目していただきたい。                                                                                                |

| 詳細                   |                                                                                                                                                |
|----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域の課題解決・魅力向上         | 弊社の引越データを活用することで、南部の人口密度の変動や北部の過疎化の進行を正確に把握することができる。また、ハザードマップ等のオープンデータと組み合わせることで、地域の課題解決・魅力向上に向けたより計画的な都市開発を支援することが可能である。                     |
| 独自性・先進性              | リアルタイムの引越データを行政サービスに反映させる仕組みは全国でも珍しく、今回の研究では既存のハザードマップ等との統合により、災害リスクと人口変動を結びつけた分析を行った。この研究分析は、行政ヘタイムリーな情報と効果的な政策立案の支援を行うことで、地域社会の課題解決に寄与する。    |
| 持続性・発展性              | この取り組みはリアルタイムでデータを更新・活用するため、刻々と変化する人口動態や災害リスクに適応できる。さらに、新たなデータの統合を通じて、施策の効果を継続的に評価・改善し、持続可能な地域発展を促す。滋賀県の現状に即した計画的な都市開発と住民支援が今後も展開可能である。        |
| 他地域への横展開             | 引越データとハザードマップの活用は、他地域にも応用可能である。特に、過疎化や人口集中の課題を抱える地域において、リアルタイムで人口動態を把握することで、適切な行政サービスや移住支援を提供できる。また他県と連携して相互に移住支援策を展開することで、広域的な人口問題の解決にもつながる。  |
| 取組を進めるうえで苦勞した点       | 引越に関連するデータを用いて分析を行ったが、その過程でデータクレンジングが非常に困難であった。特に、膨大なデータの不正確な部分や欠損値を整理し、正確な分析ができる状態に整える作業に多くの時間と労力を要した。しかし、この過程を経たことで、より信頼性の高い分析結果を導き出すことができた。 |
| 取組の成果を上げることが出来た秘訣・工夫 | 研究では、弊社が保有する引越データと大学の先生方の専門的な知見を融合させ、新たな取り組みを進めた。さらに、他のオープンデータを活用することで、これまでになく独創的なアイデアの創出につながったと考えている。この協力により、より広範で有益な成果を得ることができた。             |
| 今後の展望                | 今後は、より多様なデータ（交通データや雇用統計など）との連携を進め、さらに精度の高いモデルを構築していく。また、他地域とも連携を強化し、広域的な人口問題解決に向けた支援策を展開する予定である。滋賀県内外での事例を共有し、全国の自治体に応用可能なモデルとして発展させたいと考えている。  |